

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、医師が記載したアンケート内容を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] フォークト・小柳・原田病の診断・経過観察における画像診断機器の有用性に関するアンケート調査結果の解析

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任所属・氏名] 北海道大学病院 眼科・南場 研一

[研究の目的]

国際フォークト・小柳・原田病ワークショップ（学会）が、フォークト・小柳・原田病（VKH病\*）\*の新たな診断基準策定のために実施したアンケート調査の結果を解析すること。

\*VKH病は自分の体のメラニン色素細胞に対して、異常な免疫反応を起こす疾患です。

[研究の方法]

○対象となる人

2025年9月から2025年10月までの間に、学会が新たな診断基準に画像診断を含めることを検討するための前調査として、画像診断の有用性について専門家がどのように考えているかという現状を把握するためのアンケート調査を依頼し、それに回答した57名の医師。

○利用する情報

アンケート回答内容

VKH病の診断においてマルチモーダル画像診断が必要性

VKH病の診断において、どの画像検査法が必須または重要であるか

VKH病における無症候性脈絡膜炎を検出する検査法の選択と有用性

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2026年3月頃)～2026年4月30日

この研究について、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の医師の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する医師の情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削

2026年2月2日（第1.1版）

除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院眼科 担当医師：南場研一

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948